

事業概略書

事業名	発達障害者の顕在化されにくい「読み書き困難」についての実態調査
事業目的	「読み書き困難」が顕在化されにくい理由として、他の発達障害と併存することが多く、行動や情緒の特性のほうが注目されやすいことが挙げられる。また、読み書きは学習の基礎であるため、「読み書き困難」は本人の努力や能力に原因があるとされやすく、読み書きが苦手であることを周囲に知られたくない気持ちから、おとなになっても、他の困難より「読み書き困難」についての支援は求めない傾向がある。そこで、おとの発達障害者の「読み書き困難」における社会的障壁の実態を調査・分析し、顕在化されにくい原因の解明と具体的な支援に資するものとする。
事業概要	アンケート調査は、発達障害者本人とその親を対象におこなった。18才以上の発達障害者本人に対するアンケートでは、社会生活の中の文字や文書に関して、現状がどの程度、社会的障壁となっているか、また本人が獲得している対処方法などについて、発達障害者の親に対するアンケートでは、成育歴や親から見た現状について調査した。 アンケート調査の対象が親の会会員がほとんどであったので、ヒアリングはおとなになってから読み書き困難があると分かった本人から、聞き取り調査をした。発達障害者の支援者からも、発達障害者の読み書き困難について、ヒアリングをおこなった。
事業実施結果及び効果	読み書き困難は、「全く読めない」「全く書けない」わけではないが、読み書きにかなりの努力が必要で、時間が掛かってしまう。発達障害者自身は、読み書きはそれほど苦手だと思っていなくても、「文書の内容の説明・確認」や「提出期限など文書の管理」など、文字や文章の読み書き、文書については親や家族が支援している状況が伺える。読み書き困難に対する支援として、IT機器の利用が良く挙げられているが、本人が必要としている支援は、「質問に丁寧に答えてくれる人」や「相談に乗ってくれる人」「作成した書類の確認を気軽にしてくれるところ」といった、わからない部分について気軽に確かめられる支援といえる。
事業主体	郵便番号：151-0053 所在地：東京都渋谷区代々木4-26-5 バロール代々木415 法人名：特定非営利活動法人 全国LD親の会 電話番号/E-MAIL：03-6276-8985 / jimukyoku@jpald.net

(注)

- 1 本様式の作成にあたっては、厚生労働省ホームページに掲載するため、一般に公開することを想定し、分かりやすい表現に努めること。
- 2 本様式は、事業の概略をまとめるために作成するものであり、別途実施した事業についての成果物を必ず提出すること。
- 3 「事業目的」、「事業概要」、「事業実施結果及び効果」について、それぞれ250字程度で簡潔に記入すること。